

サントリーにおける
トレーサビリティ構築の取り組み



2004.5.28
サントリー(株)
生産推進部・品質保証部

まず、はじめに・・・



★ トレーサビリティシステムを構築する

トレーサビリティ(追跡可能性)

生産、処理・加工、流通・販売のフードチェーンの各段階で、食品とその情報を追跡し遡及できること。

何のために、システムを構築するのか？



- * どのような情報・データが必要か？
- * 情報・データをどのくらいの時間で収集する？



★ 何のために？

- ① 食品の安全性に予期せぬ問題が生じた際に、原因究明や回収等を迅速に行なうことにより、リスクを最小限に抑えることができる。
- ② 消費者等へ情報提供することにより、表示の信頼性が高まる。
- ③ 製品管理、品質管理の向上や効率化に役立つ。



- ② 消費者等へ情報提供することにより、表示の信頼性が高まる。
 - 本当か？
 - これのために、データを瞬時に収集し、データベース化し、情報として提供するためのシステム構築が必要となる。



★ 何のために？

- ① 食品の安全性に予期せぬ問題が生じた際に、原因究明や回収等を迅速に行なうことにより、リスクを最小限に抑えることができる。



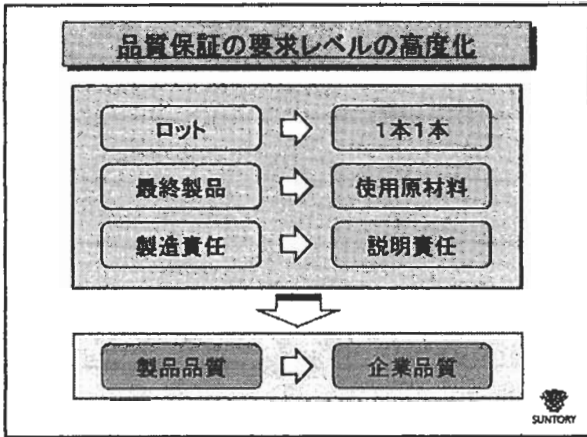
- データを収集する時間：瞬時の必要なし。
- 原因究明：やはり固有技術の部分が大きい。
- 原因がわかったら、
 - ・ 該当ロットの特定がすばやく、正確にできること。
 - ・ 該当ロットの行き先がすばやく、正確にわかること。

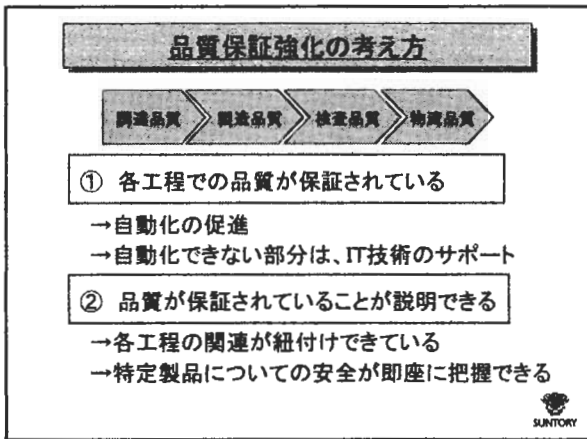
でも、今はなんでも告知回収の時代・・・理屈が通るか??

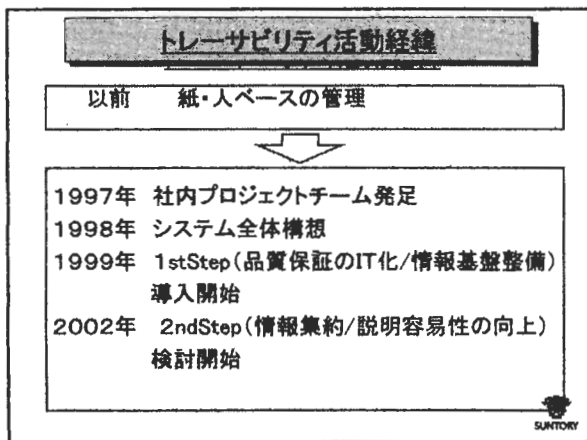


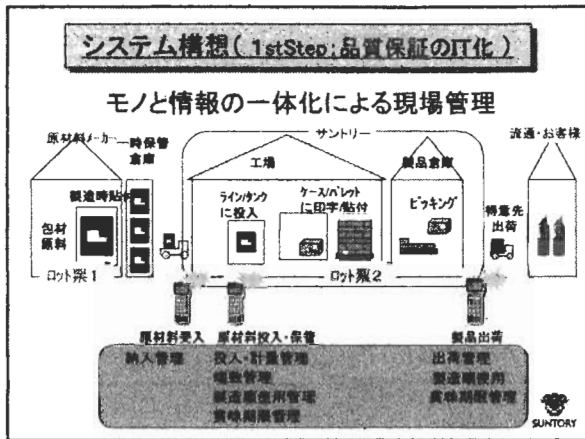
トレーサビリティ構築の取り組み

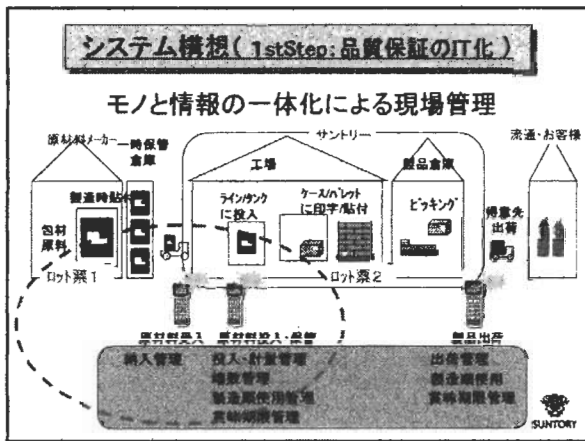




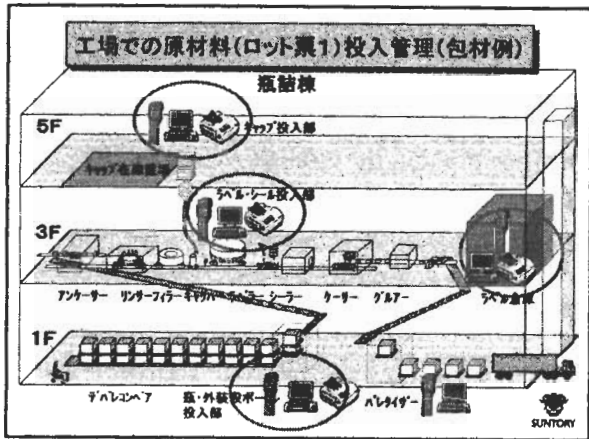


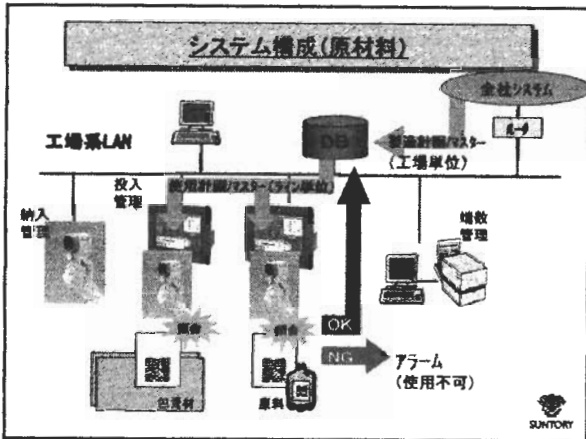


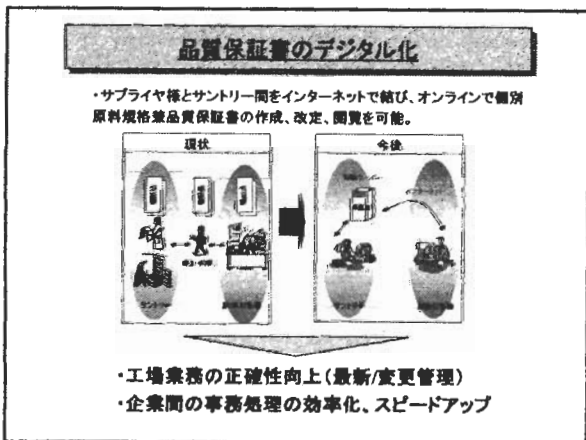


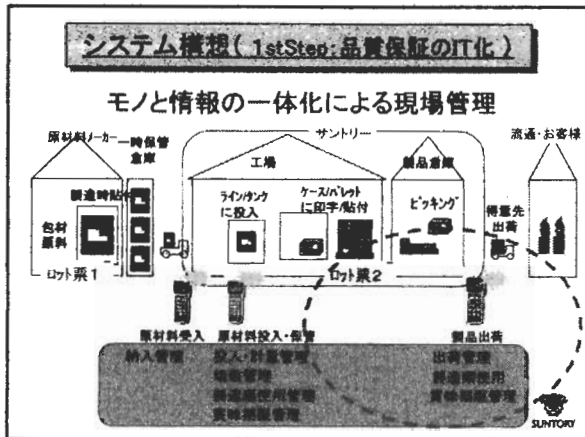


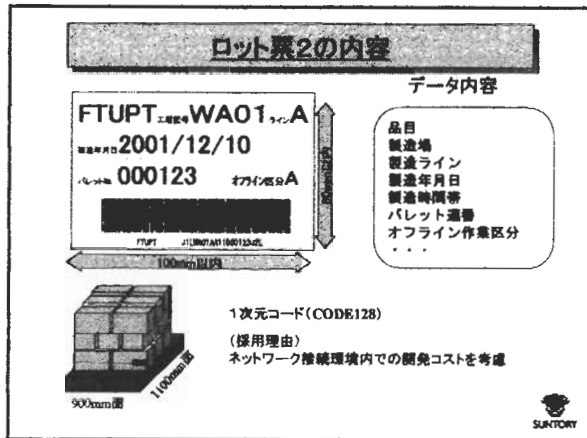


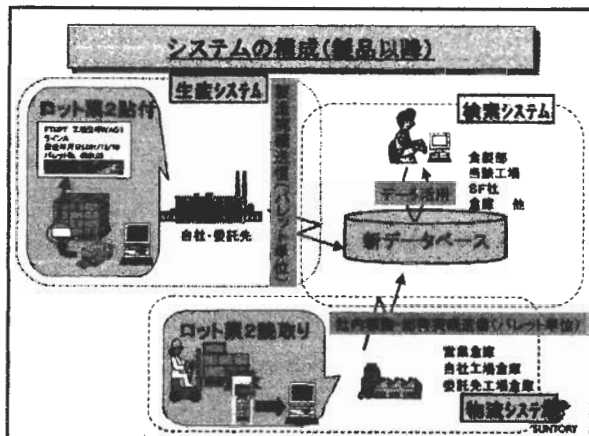












出庫時チェック機能

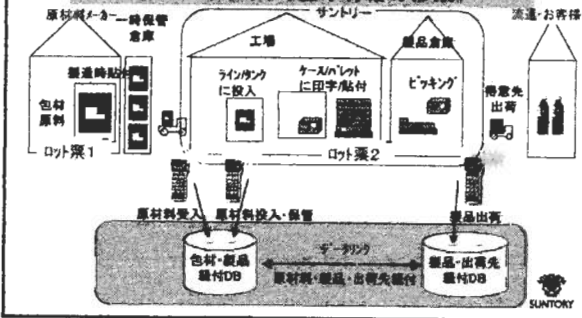
製品出庫時の読取でチェックしている項目

- 1) 営業品目コード(パレットチケット) ≠ 営業品目コード(出荷予定データ)
品目間違いの防止
- 2) スキャン数量(ハンディ入力値) > 出荷数量(出荷予定データ)
過積載の防止
- 3) 品質判定日(パレットチケット) > マシンDATE(ハンディ内部)
未判定品の出荷防止
- 4) 製造日(パレットチケット) < ロット指定(出荷予定データ)
相定ロットより古い出荷の防止
- 5) 製造日(パレットチケット) < 最新出荷ロット(出荷実績データ)
製造日付逆転出荷の防止



システム構想 (1stStep: 品質保証のIT化)

原材料～製品～出荷先の情報基盤
(トレーサビリティ基本骨格の形成)



トレーサビリティ今後の方向性(2ndSTEP)

トレーサビリティ対象範囲の拡大


お客様への迅速且つ納得性のある説明

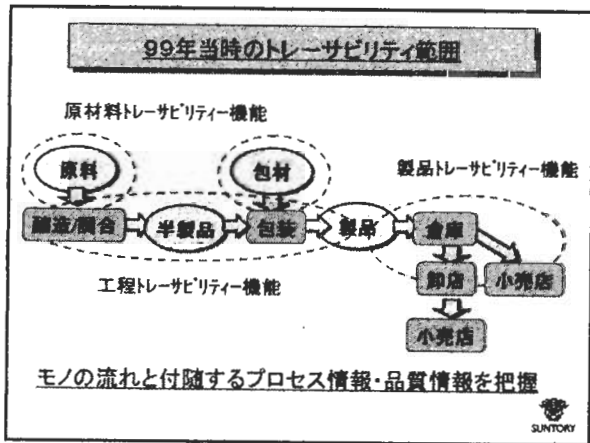


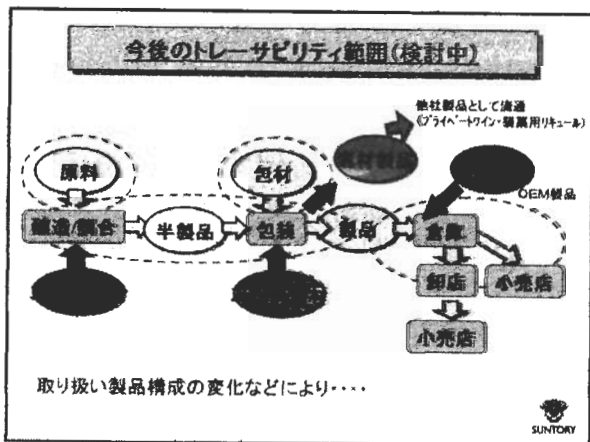
トレーサビリティ今後の方向性(2ndSTEP)

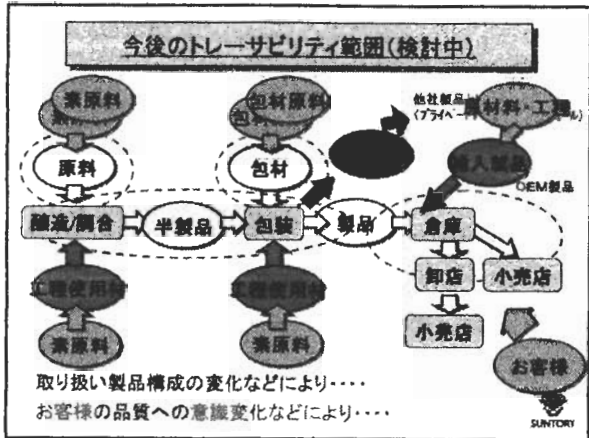
トレーサビリティ対象範囲の拡大

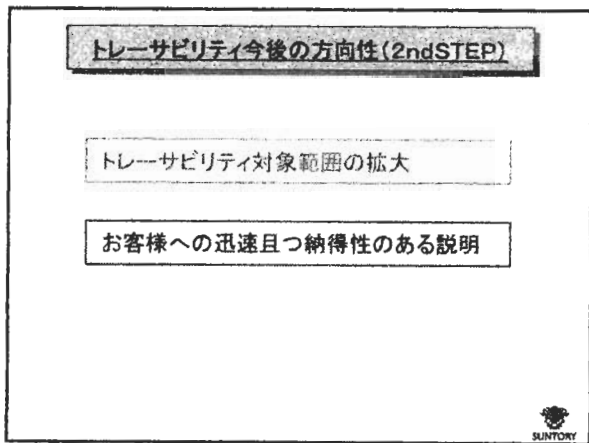
お客様への迅速且つ納得性のある説明

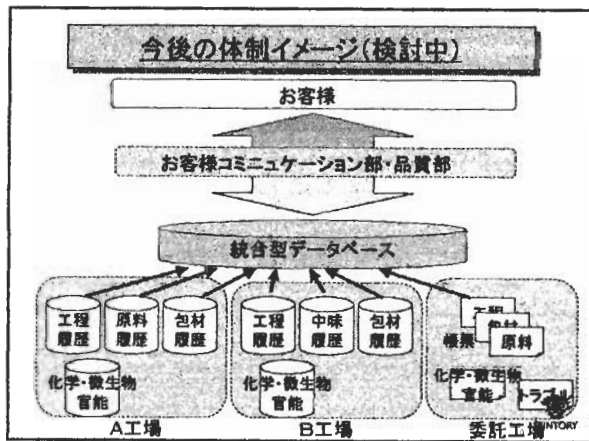












お客様への迅速且つ納得性のある対応に向け

| 今まで | これから | 精度 | スピード |
|---------------------|--|--------------------------|--------------------------|
| 一部紙ベースでの管理 | できる限りのデジタル化 (品質保証のITサポート) | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 情報の限定 | 情報範囲の拡大 | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| データが分散 (工程別、工場別) | データを集約 (全工程・全工場一括) | <input type="checkbox"/> | <input type="radio"/> |
| 必要時の 関係データ調査・報告 | 積極的な 品質保証体制・データ開示 * 開示範囲/方法は検討中。 | <input type="radio"/> | <input type="checkbox"/> |

課題

- 情報開示のレベル
 - お客様の知りたい情報(基準)の検討
 - お客様への伝達方式の検討
- 企業間(加工食品業界全体)データ流通
 - データ(システム)様式の統一、標準化
 - 業界全体への働きかけ

お客様へ「最高の品質」を提供する

「品質」はグループ全体の最重要課題

- ◆ 飲用時での安全・安心な品質保証
- ◆ 快適・感動・楽しさを生み出す品質




終

ご静聴有難うございました。